

# 高大連携講座

(令和6年4月1日発行)

## 身延高校と山梨県立大学の連携講座の成果 (山梨県立身延高等学校)

### 目指す生徒像

◎地域の中にありながら、深く思索する力を有し、発想力が豊かで、物事を建設的に組み立て、課題を解決できる(実現できる)力を持った人物。

◎日本や世界に向けた情報の発信手段を考え、人と関わりながら実現できる人物。

◎国や自治体などに頼らないライフスタイルの実現ができる人物。

### 実施目的

地域の将来を考える人材の育成を目的とし、峡南地域の課題等を自ら探り出し、活気に満ちた地域社会の在り方を考える。さらに、自ら考える力、一歩踏み出す力、考え抜く力等を養うことを目的とする。また、地域に提言することで、自らで地域社会を変革する力を身に付ける。

### 講座方法

連携授業は、生徒が将来地域の活性化を担うような人材育成・啓発を主な目的としている。そこで、生徒自身が、積極的に活動に参加していくことが重要である。そのため、フィールドワークの導入やグループワークを取り入れた授業をしている。

### 令和5年度の実施回数と内容

【回数】33回+ミーティング数回

【内容】地域活性化事業

「身延町サイクリングマップの作成」

## 身延2021年～2023年の活動



2021年度は観光をテーマに文化庁の歴史の道百景に選出された古道みのぶ道に着目し、紹介パンフレットを作成しました。

2022年度は身延下部地域にスポットを当て、アクティビティ・歴史・移住促進・情報発信の4班に分かれて調査・研究しました。

2023年度は峡南地域の活性化に着目し、サイクリングマップを作成しました。サイクリングマップの作成を行うにあたり食事・歴史・アクティビティ・自然の4班に分かれ、探究活動を行いました。



「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」



にてチームラボ賞を受賞

「おもてなしのやまなし知事表彰 (H29)」受賞



活動の様子

山梨県立大学伊藤先生の指導 (R5)

中間発表会

オリエンテーション

ミーティング

サイクリング体験 (BURARI FUJIKAWA)

リアルファンディングN山梨 (出場)

身延町への成果報告会

【メンバーの感想】 令和5年度生徒 1年生4人・2年生4人・3年生11人 計19人

- サイクリングマップを作成するにあたって、身延地域について自分たちで調査し、まとめることができた。
- 高大連携の中で学年の壁を越えて協力し合いながら、調査することができた。また、今回の活動にて峡南・身延地域に理解を深めることができた。
- 高大連携講座を通して、身延町の特色を知ることができた。
- 来年度も地域に協力できるようこれからも調査・探究を取り組んでいきたい。
- サイクリングコースの作成は難しかったが、町への報告が成功して良かった。



高大連携講座は答えのない課題に対して、集団で考えをぶつけながら、よりよい解を見いだす活動をしています。「0から1を作り出す力」「一歩踏み出す力」を身に付け、生きる力の獲得を目指し活動しています。

2023年度は、身延地域の観光発展と地域活性化に焦点をあて、「BURARI FUJIKAWA」というシェアサイクリングを活用したサイクリングマップの作成を行いました。

年代や環境の違う人とかわり、グループで協働して、地域貢献策を実践します。これにより、自分と自分が生活する町（社会）とのつながりの深さ等を再確認することができます。そして仲間を作って行動すれば、少しでも状況が変えられることも知ることができます。現実社会では、問題解決の方策を考えても、それが実現される機会は非常に限られています。その点、意欲を持って主体的に取り組み、成果物を生み出すこの講座の価値は計り知れません。また2024年度はいろいろな場所に行って実地研修を積みたいと考えています。

さあ、あなたも一緒に活動してみませんか！